

本製品は密封された状態で使用する一般消費者用製品のため、SDS制度の対象ではありません。本記載内容は、作成時点で当社が入手できた資料・情報・データなどに基づいて作成したものであり、最新情報により改定される場合があります。
本記載内容はリチウムイオン電池の安全な取扱いのために参考情報として提供するもので、安全を保障するものではありません。

製品安全データシート (SDS)

2020年6月1日 製作
2023年2月1日 改訂

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : リチウムイオン電池
会社名 : JTC Auto Tools 株式会社
住所 : 〒745-0802 山口県周南市大字栗屋 332 番地 4
e-mail : info@jtcautotools.co.jp
FAX : 0834-36-0010

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| JTC7651P | JTC7652P | JTC7654P | JTC7678P |
|----------|----------|----------|----------|

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類対象外

化学物質が密閉された金属または金属層のシェルに保管されており、通常の使用中の温度と圧力に耐えることができます。通常の使用では、火災や爆発などの物理的危険性や、バッテリー内部の物質の漏出による化学的危険性はありません。ただし、バッテリーが火にさらされたり、強い機械的衝撃を受けたり、バッテリーが分解したり、バッテリーが誤用により電氣的ストレスにさらされたりすると、バッテリーの通気孔が開きます。極端な状況下では、バッテリーケースが破損し、バッテリーの内容物が外に出る可能性があります。また、火気等の強い熱により、刺激性ガスや有害ガスが発生する場合があります。

危険性 : 電解液が水に触れると有害なフッ化水素が発生します。

漏出した電解液は可燃性の液体ですので、火気に近づけないでください。

危険有害性情報 :

- ・ 吸入すると有害 (ミスト) ・ 軽度の皮膚刺激 ・ 目刺激 ・ 遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・ 臓器(肺)の障害のおそれ ・ 長期または反復暴露による臓器(肺、皮膚)の障害
- ・ 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
成分及び含有量(wt%)

| 物質名 | 化学式又は構造式 | C A S No. | 含有量(wt%) |
|---|--------------------|--|----------|
| 正極リチウム | Li [M] m [O] n * 2 | 12190-79-3 12031-65-1 12057-17-9 182442-95-1 207803-51-8 20-60 | 20~60 |
| 正極アルミ | — | — | 1~10 |
| ネガティブカーボン 7782-42-5 7440-44-0 10-30 | — | — | 10~30 |
| 負極トレース銅 | — | — | 1~15 |
| 電解液 623-53-0 | — | — | 5~25 |
| 外側ケース | — | — | 1~30 |

4. 応急措置（製品から電解液が漏出した場合）

吸入した場合

- ： 新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

- ： 触れた部分を水またはぬるま湯と石鹸でよく洗い流す。

目に入った場合

- ： 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。洗眼時にはこすらずにまぶたを指でよく開き、眼球、まぶたの隅々までよく洗浄する。もし異常があれば医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

- ： 無理に吐かせないで、速やかに 医師の診察を受ける。
口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

5. 火災時の措置

消火剤

- ： 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
棒状の水は火災拡大を引き起こす恐れがあるため、使用しないこと。

特定の消火方法

- ： 消化作業の際には保護具（空気呼吸器）を着用する。
条件によっては有毒のシアンガスが発生する場合も否定できない。
火災によって刺激性、腐食性及び、毒性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

- ： 適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。
可燃物を周囲から速やかに取り除く。
消火活動は風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ： 適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

環境に対する注意事項

- ： 河川、下水道等に流入しないように注意する。
廃棄物等は関係法規に基づいて処置をする。

除去方法

- ： 周囲の着火源を取り除く。ウエス、吸着マット、オガクズ等で吸収させ回収する。漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ： 換気のよい場所で取り扱う。
周辺で火気、スパーク等の発火源となるものや高温物の使用を禁止する。

注意事項

- ： 炎、火花、高温体との接触を避け、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。
炎に向けて吹きつけないこと。

保管

適切な保管条件

- ： 直射日光を避け、火気、熱源がない風通しのよい所に保管する
水回りや高湿度の場所での保管は避ける。
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

・制御パラメーター

ACGIH は電解質の制御パラメーターについて言及されていません。

・保護具

- 呼吸器用の保護具： 呼吸器保護具(防塵マスク)を着用すること。
- 手の保護具： 保護手袋を着用すること。
- 目の保護具： 眼の保護具(ゴーグル等)を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具： 長袖保護衣、顔面用の保護具、保護靴等を着用すること。
- 適切な衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

形状： 円筒形または角柱形または巾着型

色： メタリックカラーまたは黒

臭い： 無臭

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の状態では安定

反応性： データなし

避けるべき条件： ショート、破砕、変形、100℃を超える場合、発熱や発火の原因になります。直射日光と高湿度も避けること。導電性材料、水、海水、強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

- ・有機電解液：2000mg/kg 以上・刺激性：皮膚と目を刺激する

12. 環境影響情報

・耐久性と分解性：

バッテリーセルと内部の材料は自然に分解することができないので、バッテリーを埋めたり、ポールに埋めたりしないでください。

13. 廃棄上の注意

・安全と環境保護のための推奨方法

「バッテリー管理法」などのバッテリーセルの収集または廃棄を規制する法律があります。

14. 輸送に関する注意

輸送中の高温暴露と霜を避けてください。
輸送の過程で、動かないよう商品を固定する必要があります。
雨ざらしにならないようにしてください。

■国連規制

- ・ 3480（バッテリーが機器に同梱されている場合は 3481 です）。
- ・ 正式出荷品名：リチウムイオン電池（機器に内蔵されているリチウムイオン電池、または機器に同梱されているリチウムイオン電池）
- ・ クラス：9
- ・ 本製品は、危険物の基準を満たした「リチウムイオン電池」ですが、電池の総容量は規定の対象ではありません。

輸送規制

- ・ 航空輸送
ICAO TI / IATA-DGR [Packaging Instructions 965 section IB or D]
機器に内蔵、または同梱されている電池を発送する場合は、必要に応じて梱包説明書 966 または 967 を使用してください。
- ・ 海上輸送
IMO-IMDG コード 188
- ・ ヨーロッパ、陸上輸送
ADR [特別規定 188]

15. 適用法令

廃棄物処理法：産業廃棄物規制（日本）
資源有効利用促進法（日本）
米国運輸省 49 連邦規制法（アメリカ合衆国）

重複する規制については、セクション 14 輸送情報を参照してください。
商品名：リチウムイオン二次電池

16. その他の情報

- ・ 記載内容は、資料、情報、データに基づいて作成されたものです。
- ・ 新し情報を入手した場合は、追加、改訂されることがあります。
- ・ 現在の法律に基づいてたものです。
- ・ 特別な取り扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

参 照

危険物規制-第 58 版 発効 2017 年 1 月 1 日：国際航空輸送協会（IATA）
IMD コード 2016 年版：国際海事機関（IMO）
危険物の国際輸送に関する欧州協定 2017 年：ヨーロッパのための国連経済委員会（UNECE）

以上